内部質保証に関する方針

明治国際医療大学（以下「本学」という。）は、内部質保証を推進するため、以下の通り、方針を定める。

1. 内部質保証の目的

本学の理念・目的を実現するため、教育研究活動等の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を踏まえて、質の向上に向けた恒常的な改善・改革を推進する。

2. 組織体制

(1) 大学全学の内部質保証の責任を負う組織として、学長を委員長とする「自己点検運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。運営委員会は、教育研究活動等の適切性、有効性を検証するため、自己点検・評価に係る全学的な方針および計画を策定し、自己点検・評価活動を統括する。自己点検・評価の検証結果は、事業計画や教育研究組織及び事務組織の活動計画等に反映させることによって、教育研究活動等の全学的な改善・向上を着実に推進する。

(2) 運営委員会の下に、内部質保証の主体組織として、「自己点検実施委員会（以下「実施委員会」という。）を置く。実施委員会では、部門毎の自己点検・評価結果を全学的観点から点検・評価し、現状認識、課題抽出、改善方策等の検証を行い、その結果を反映した「自己点検・評価報告書」を作成し、運営委員会に上程する。

3. 自己点検・評価の実施

各学部・学科、各研究科及び各種委員会等の教育研究組織及び事務組織は、「自己点検実施委員会細則」に定められた点検・評価項目に基づき、自己点検・評価を実施する。

4. 自己点検・評価結果の公表

運営委員会は、各学部・学科、各研究科及び各種委員会等の教育研究組織及び事務組織からの報告を統括整理し、自己点検・評価結果を教授会に報告するとともに、本学のホームページを通じて、社会に向けて公表する。

5. 外部評価による検証

内部質保証の適切性、有効性を客観的に検証するため、認証評価機関による認証評価を審査するとともに、必要に応じて外部有識者の点検を受ける。評価結果及び指摘事項等については、改善状況を点検し、教育研究活動等の改善・向上を推進する。

6. 教職員個人における内部質保証

組織的なFD活動及びSD活動を通して、教職員それぞれが教育研究活動等の質の保証・向上の担い手であることの自覚を促す。